

♪音楽センターアコーディオン科南部教室「2020 前期教室発表会」より♪

☆稲葉先生長い間ありがとうございました☆

2020年10月28日(水)18:00開始(20:00終了)

会場:大戸会館(日頃の練習会場)川崎市中原区

今年は長い間指導して下さった稲葉由理子先生が4月で退任されることになり、その感謝の場にと準備していたので新型コロナウイルスの影響は大変残念でした。教室生のそんな思いから、以下はお客さんをお呼びしなくてもと取り組んだ発表会の様子です。

《教室代表挨拶》七田さん

3月に修了演奏会を実施するはずだったのですが、コロナの影響で今日になってしまいました。稲葉先生には水野先生の後を受けて15年ぐらいですかね、老健コンサートとか関東アコの合奏で大変お世話になりました。

最初は「椰子の実」大変難しい編曲でしたね、関東アコでとても緊張したことを覚えています。「荒城の月」では3位に入賞したり、「エストレリータ」とか「すみれの花咲くころ」他にもいっぱい先生との思い出の曲があります。私たちの演奏もこの南部教室が続く限り聴いていただく機会もあるかなと思いますので、今後とも是非よろしくお願ひしたいと思います。

今日は、そういう意味も込めまして、“稲葉先生長い間ありがとうございました”ということで、私たちの今練習している曲を発表する場を企画しました。ソロ中心になりますけどお聴きください。それぞれ自己紹介、曲紹介をして演奏します。

☆福元(み)さん 「ドリゴのセレナーデ」

先生には音楽の話だけでなく愚痴を聞いてもらったり、1週間に1度だったけれどすごく貴重な時間だったなあと思っています。先生のように弾けたらいいなと思っているんですけど、なかなか身につかないまま今日にいたっています。楽しみながら弾けたらいいと思っています。

曲は「ドリゴのセレナーデ」です。セレナーデって“恋する人に曲を捧げる”そんな感じの曲だそうなんですけれども、程遠いなって思いながらも頑張ってみます。



☆内藤さん 「トロイメライ」

稲葉先生3年間ありがとうございました。3月の発表会で弾こうと思っていた曲「トロイメライ」を弾きます。

※内藤さんの使っている楽器は、稲葉先生が使っていた楽器で、退任後先生から譲り受けました。



☆石川さん 「裸足のイサドラ」

私にとって今日の発表会は、教室に入って3回目です。稲葉先生のお別れと一緒にすることは大変残念な想いです。私は稲葉先生に見ていただくことの方が多かったと思います。今日弾く曲は「裸足のイサドラ」です。これは昔映画を観まして、大変素敵な映画で、それがちょうど曲集にあったので弾いてみようとして練習していました。先生のアドバイスを思い出しながら弾いてみます。



☆阿部さん 「ママ恋人が欲しいの」

発表会、今年は無いかと思っていたけれども、こんな形でも出来てよかった。発表会があれば次の新しい曲に進んでいけるなという感じです。今までの発表会で弾いた曲を数えたら、今日弾く曲で20曲目なんです。練習もただ数多くやれば良いという感じでしたけれども、先生から音についていろんなことを教わり勉強になりました。今日は「ママ恋人が欲しいの」を弾きますけれど、いつも弾く前に「ママ聞いてよ！、話し聞いてよ！」と、要するに自分の中でせりふをつくって、それから弾くようにしています。それでは聴いてください。



☆伊藤さん 「ムーンリバー」

稲葉先生と出会ったのは、音楽センター夏の合宿です。そのとき、自分では弾けているかなと思っていたら「あなたは何をイメージしているの」って1日目は前奏しか教えてもらえなかった記憶があります。それからすごく勉強になったのは、「アコーディオンの上手い人はたくさんいるよ、だけどあなたたちには熟女の魅力がある。私達、歳をとってきたら若いものにはかなわない、熟女の魅力っていうものがあるんだから、それを演奏で表現すればいい」と言われたことです。これからは自信を持って歳をとってみようと思います。



☆福元さん・渡辺さん（デュオ） 「鶴」

演奏する曲は「鶴」、きれいな曲で楽譜を見つけて、中山先生の編曲（独奏用）ですけど、森先生にデュオのために下を付けていただいて二人で練習しました。

この曲は、ロシアの詩人が広島の原水禁大会に参加したときの詩に曲が付いています。訳詞はいくつかあるようですけれど、空を飛んでいる鶴の群れのあの隙間はもしや私のために、私もやがて鶴の群れとなって飛び立とう、亡くなった人たちを偲びつつ・・・そんな詩のようです。そういう想いを込めて弾きたいです。聴いてください。



《小休止》

☆乙津さん 「緑のステップ変奏曲」

稲葉先生の思い出といえば、木下先生の下で「ニュー・アンサンブル・アコルデ」というグループで素敵な演奏をしていたことです。皆さんそれぞれいい音をつくっていて素敵だなあって聴いていました。他のアコ仲間から「乙津さん誰に習っているの」って聞かれることがあるけれど、稲葉先生だよって自信を持って言えることは、恵まれていたと思っています。先生には、ここ2年ぐらい、全訳バイエル教則本をテキストに見てもらっていました。今日は、バイエルではない何かをと、「緑のステップ変奏曲」を弾いてみます。



《小休止》

☆七田さん 「アメリカのワルツ」

僕のアコーディオン歴を見ると、一番のピークはいつなんだろうと、「満州の丘に立ちて」で音楽センターのグレードに出て、関東アコに出て、あのあたりが一番充実していたと思う。今は、孫と一緒に生活のなかで練習時間も少なくなりました。今日弾く曲「アメリカのワルツ」は一昨年の音楽センターの合宿で川口先生のクラスになったときに、よさそうだと思って買って来た楽譜「ラストワルツ」、「ララのテーマ」、「メアリのワルツ」の中の1曲です。3曲練習した中で一番最後になったけれど聴いてください。



《小休止》

☆渡辺さん 「海に見える街」他

稲葉先生から教わったのは“音の階段”のことと、“ベースとコードの役割の違い”と“ベースの役割”。そうかってやっと思えるようになってきたところです。

先生は八丈島にいらしたことがあると聞いていたので、この曲「海に見える街」を選んでみました。まだ森先生にも聴いてもらってないので、ちょっと無謀なんですけど聴いてください。



《小休止》

☆福元（和）さん 「ワルツ」

いよいよ最後です。楽譜の中に無駄な音符は1つも無いといわれて、練習するんだけど、まあ、そういうことで弾いてみます。



《小休止》

《稲葉先生の伴奏で歌のリクエストタイム》



うたった曲 「里の秋」「紅葉」「リンゴの唄」「たんぽぽ（雪の下の・・・）」

《花束・色紙 贈呈》



稲葉先生、森先生に花束贈呈



稲葉先生に色紙の贈呈

《お客さんから一言》

- ・内藤さんのお母さん・・・子どもの曲は家で聴くんですけど、きょうはみなさんの曲を聞いて楽しかった。
- ・山田さん・・・やっぱり楽器って上手になると練習もきっと楽しいですね。素敵な演奏会です。最後の合奏も楽しみにしています。
- ・稲葉先生・・・この場所は私にとって遠いんですよ、だけどその分とてもいい出会いが出来たと思っています。みなさんの心に残るようにと、思っていたより長く通いましたけれども、年齢に負けないように体力を付けていつまでも弾き続けてください。アコーディオンってそれだけ魅力ある楽器だと思っています。

《合奏》「金婚式」

稲葉先生は、確か金婚式を迎えられたと思ったのでこの曲を送ろうと柴崎先生に編曲していただき、ずっと内緒で練習してきました。（指揮：森陽介講師）

